

四国経済産業局長賞

乾式転写技術を応用した樹脂製品開発と事業化



株式会社リアライズ

所在地：高知県南国市三和琴平

代表者：取締役社長 宇賀 敏雄

設立：平成17年（2005年）

資本金：1,000万円

功績

平成18年度地域新生コンソーシアムの共同研究により、自動車のステアリングホイールハンドルに於ける「乾式転写技術の開発」は、成果を得た。この研究開発成果による意匠表現力やコスト面ばかりでなく、新たに開発した「接着剤レス」「ベースコートレス」工法により、VOC対策など環境負荷低減効果が大きいと期待でき、様々な面で水圧転写工法に対し優れているとして自動車内装材や樹脂成型の業界にて非常に高い評価を受けた。

これにより国内自動車メーカーの工法採用が決定し、自動車加飾市場への参入が可能となった。



TEL:088-880-7130

独立行政法人産業技術総合研究所 四国センター所長賞

生産性向上と技術ノウハウの蓄積・伝承を実現するための技術情報管理システムの開発



株式会社山本製作所

所在地：愛媛県松山市小栗

代表者：代表取締役社長 山本 功

設立：昭和30年（1955年）

資本金：5,000万円

功績

社内全体での3D-CADデータ活用と、それに連動する形での各種帳票・NCデータ管理、過去の不具合情報（処理プロセス）等のデータベース化を行い、事務所-工場間及び工場内でのワイヤレスネットワーク化、携帯端末（タブレットPC）活用、電子メールでの情報伝達等により、リアルタイムでの技術・製造情報の伝達を実現させる技術情報管理システムを開発した。

また、これらのデータの一元管理と最新版管理、標準書・規格書、作業ビデオマニュアル等の管理により生産性向上、コストダウン、技術ノウハウの蓄積・伝承を図っている。



URL：<http://www.yama-sei.co.jp/>

TEL：089-931-2251

メンテナンス不要でクーラント液の寿命延長の微細スラッジ分離装置を開発



四国工業株式会社

所在地：徳島県板野郡藍住町

代表者：代表取締役 前野 忠勝

設立：昭和43年（1968年）

資本金：1,000万円

功績

精密部品加工過程で、循環するクーラント中に発生するスラッジを磁化・凝集により急速に分離沈降させ、沈殿したスラッジを永久マグネット付きチェーンコンベアに吸着・誘導して排出することによりクーラントを浄化する微細スラッジ分離装置を開発した。

浄化機能とタンクを一体化しているため、液の劣化・腐敗を防止し、また、タンク清掃もいらず、メンテナンスが不要となる。また、効率の良いスラッジ（無機質粒子を含む）除去が簡単にできるようになり、産業廃棄物（廃油）の減少と併せ、コストダウンにも結びつく。

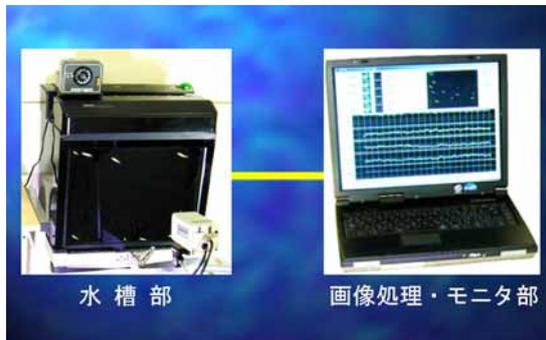


URL：<http://www.shikoku-ind.co.jp/>

TEL：088-672-4766

財団法人四国産業・技術振興センター 理事長賞

めだかの動きで水質を監視する「めだかdeモニタ」の開発



株式会社四国総合研究所

所在地：香川県高松市屋島西町

代表者：代表取締役社長 新田 芳樹

設立：昭和62年（1987年）

資本金：1億円

功績

「浄水場」を始めとする厳しい水質管理が要求される飲料水を取り扱う施設に最適な生物式水質モニタ「めだかdeモニタ」を開発した。生物として毒性物質に敏感なめだかを複数用い、撮影しためだかの画像をパソコンで高速演算処理して、個々のめだかの行動を自動追尾し、リアルタイムで水質の異常を監視するシステムである。



商品化されている生物式監視システムの中で、使い物になるとの高い評価を受けている商品である。これまで採用を断念してきた地域の浄水場を中心に導入されつつあり、監視員の負担軽減やリアルタイム連続監視による水質監視の強化に大きく貢献している。

URL：<http://www.sskn.co.jp/>

TEL：087-843-8111

『自動フック追尾型レーザー測距装置』の開発



株式会社タダノ 技術研究所
所在地：香川県高松市林町
代表者：技術研究所長 片山 周二
設立：昭和23年（1948年）
資本金：13,021,568,461円

功績

レーザー距離計とズームレンズ付き CCD カメラを搭載した 2 軸雲台機構に、画像処理技術によるビジュアルフィードバック制御を適用することで、最大 100m 先の移動ターゲット(フック)を自動的に認識・追尾し、クレーンの旋回中心からフックまでの水平距離(作業半径)を計測する『自動フック追尾型レーザー測距装置』を開発した。



本装置は、人が巻尺で実測して確認していたクレーンの作業半径を、効率よく高精度に自動計測できる。また、このデータをクレーンの安全装置に直接入力することで、安全で効率的なクレーン作業が可能になる。移動ターゲットの認識・追尾は、ソフトウェア処理で高速応答性を実現している。また、ズームレンズの制御によりレーザー距離計の視準を容易にしている。

URL：<http://www.tadano.co.jp/>

TEL：087-869-2000

ガソリン廃油・機械廃油・食廃油を燃料とする無煙無臭の廃油燃焼装置の開発



株式会社藤田製作所

所在地：愛媛県西条市港

代表者：代表取締役 藤田 秀一郎

設立：昭和11年（1936年）

資本金：2,000万円

功績

霧状にして噴射させ、螺旋状に方向をつけて燃焼させることにより、同一筒内で完全燃焼し、無煙無臭で900以上の温度が得られる廃油燃焼装置を開発した。

日常的に廃棄されているガソリン廃油・工場などの機械廃油・一般家庭や食堂、レストラン等から処分もしくは排出される食廃油が燃料となりダイオキシン発生領域を超える高温が得られる為、工場内や屋外の暖房機器として最適である。また、風呂や食堂などのボイラーとしても効果が見込め、各種産業の乾燥工程にも適応できる。あらゆる種類の廃油に適応できる為、リサイクル性が高い。

URL：<http://www.fujitam.co.jp/>

TEL：0897-56-5373

参 考

【废油燃烧装置 K S - 1 紹介】

廃油燃烧装置

KS-1

高価な燃料はもう必要ありません

多用途な熱源に利用可能

ものづくりでものづくりを応援
今までにない完全燃烧でコスト削減

小型ブローで炎を回転させ完全燃烧

廃油燃烧装置KS-1のメリット

安心安全

燃烧時に煙が発生することがありません。
燃料噴霧方式により、すばやく消火することができます。

簡単操作

火力の調整は、燃料調整コックで簡単に行うことができます。

低コスト

廃油を使用することで、廃油処理費用や
燃料購入費用が削減できます。

ロングライフ

本体は鋳造・上部はステンレスなので長寿命です。
ノズルのつまりもほとんど無く、メンテナンスが簡単。

様々な油種の廃油に対応

エンジンオイル、天ぷら油等の廃油が主燃料になります。
(植物油の場合、約30%廃鉱物油を添加していただくとより安定した燃焼を得られます)

※特許出願中



廃油燃烧装置 正面

廃油燃焼装置 (廃油ストーブ) KS-1 仕様 KS-1 SPEC

燃 料 鉱物系・植物系廃油
※ガソリン・シンナー等、揮発油厳禁

消費量 1.8L/H~3.0L/H

上部1m温度 450~600C°

106 ϕ

電 源 100V/50Hz
100V/60Hz
200V/50Hz
200V/60Hz

消費電力 70W/60Hz
80W/50Hz
※ヒーター作動時プラス130W

本体寸法 幅………610mm
奥行き…915mm
高さ……1200mm

点火方式 手動

参 考

- CO/27ppm
- Nox/51ppm
- 空気比/1.3
- O₂/4.8%
- 排ガス温度/490C°

※検査機械
HODAKA HT-1600N
A重油使用O₂加算2%

※上記仕様は予告なく
変更する場合がございます。



— 変化に挑戦・日々改善 —

株式会社 藤田製作所

港工場 〒793-0046 愛媛県西条市港1-2 (西条鉄工団地内)
TEL (0897) 56-5373 FAX (0897) 56-9240
プラント工場 〒793-0046 愛媛県西条市港2-7 (西条鉄工団地内)
TEL (0897) 53-8181 FAX (0897) 53-8177
ひうち工場 〒793-0003 愛媛県西条市ひうち西ひうち3-10
TEL (0897) 56-4677 FAX (0897) 56-4680
U R L <http://www.fujitam.co.jp>

特約店